



2025 年 4 月 30 日

## 森と海の自然科 「森と海の自然科・第 25 回山歩きを楽しむ会」

### 奇岩・巨岩の金勝アルプス縦走の記録

**日時** 2025 年 4 月 22 日 (火) **天候** 晴れ 曇り空の暑い日でした  
**集合** JR 草津駅 9 時 50 分 10 時発の上桐生行バス乗車  
**参加者** 10 名  
**行程** JR 草津駅～上桐生バス停・登山口 (トイレ) ・オランダ堰堤・逆さ観音像・水晶谷分岐 (休憩) ・出合分岐・狛坂摩崖仏 (休憩) ・国見岩 (昼食) ・重岩・白石峰 (休憩) ・茶沸観音・白石峰・耳岩・天狗岩 (休憩・天狗岩登り) ・落ヶ滝線分岐 (休憩) ・岩場歩き・落ヶ滝分岐・上桐生バス停～JR 草津駅 (解散)  
 歩行距離; 8.5 km、歩行時間; 6 時間)

#### 地図



#### 概要

日本アルプスとは本州の中央部を南北に連なる北アルプス、中央アルプス、南アルプスで 3000m 級の山々が連なっている山脈のことです。

それ以外に日本各地には〇〇アルプス × アルプスと呼ばれる 1000m 級の山々が連なる山脈・山地があります。

近畿近辺には須磨、播磨、加西、多紀、紀泉、湖南アルプスや金勝アルプスなどがあります。近畿近辺のアルプスは 1000m 未満であり、気軽に登ることができます。

今回登った金勝アルプスは巨岩・巨石の山で岩場登り体験ができました。



登山口の上桐生バス停到着

登山口から南谷林道を出合分岐まで歩きます。途中にある逆さ観音を見学して更に山道をドンドンと進み新名神高僧道路のトンネルを潜り抜けて行きました。

水晶谷出合で休憩をとり更に道を進むこと 30 分ほどでやっと金勝アルプス縦走道への入口に到着。ここから本格的な山道となります



逆さ観音を観察しました

大きな岩がゴロゴロとした歩きにくい急坂の道を進んで行く。周りには大きな巨石が見えました。

歩いているとやがて石垣が見え始め所に着きました。大きな岩に刻み込まれた狛坂摩崖仏のあるところに到着する。ここで記念写真を撮ったりして大休憩しました。休憩後、さらに急登道をのぼりあがる

と国見岩展望地に到着しました。真下には新名神高速道路や琵琶湖、比叡・比良の山並が、そして目を北に向けると巨岩の重なる天狗岩や鶏冠山そして遠くに三上山が見えています。展望の良いここで昼食にしました。



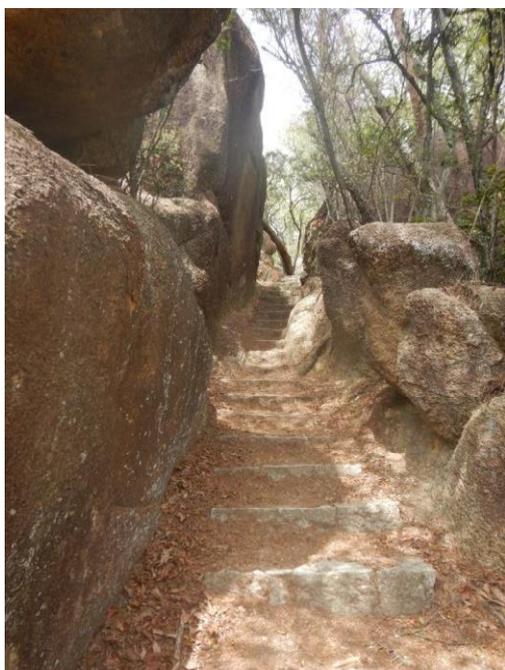
狛坂摩崖仏



狛坂摩崖仏で記念写真

昼食後道を進んで行くと竜王山との分岐点白石峰に到着しました。茶沸観音までピストンし、白石峰から耳岩へ向かう。

耳岩は巨岩で、どこから見たら耳に見えるのかよくわかりませんでした。計画では天狗岩線を下り下りる予定でしたが道が危険なので北峰縦走線を通り天狗岩を經由して落ヶ滝線を下り上桐生バス停への道を進むことにした。



国見岩を目指す山道



白石峰からの展望



茶沸観音



耳岩に向かう途中



耳岩に到着しコースを変更する

天狗岩で、天狗岩山頂へに登る人と下で休憩をとる人に分かれ、大休憩をとりました。険しい山道であったので休みも兼ねて休憩時間を多めに取りました。そのため落ヶ滝分岐に着くのが遅

くなり、予定していた15時45分のバスを16時50分としました。また、分岐からの下りは岩場が多くあり、フックスロープを頼りに下る箇所が多くありました。



天狗岩に登った人が見える



天狗岩の下で記念写真



落ヶ滝分岐からの下山道

ハネス・デレーケの指導により明治22年に造られたオランダ堰堤（地元ではストメと呼ばれている）が今もあります。16時50分バス停には8名の参加者が乗車し、遅れた2名の参加者は17時55分の

下山したトイレの近くに金勝アルプス（湖南アルプス）の説明板があります。そこに1枚の禿山の写真が記載されています。この写真は、大正時代に撮られた金勝アルプスです。金勝アルプスの西隣の湖南アルプスも同様に禿山でした。

奈良時代以前は樹木の鬱蒼とした山でしたが、都の造営のため樹木が伐採されたり、更に過度に燃料採取が行われたので江戸時代には全国的に知られる禿山となった。そのため下流域に多大の水害を起こし、住民を苦しめた山でした。

明治以降、地元民の労力により山腹工（芝の貼り付けと苗木（エニシダ等）が実施され緑が蘇った山に再生した。また、明治政府が招聘したオランダ人技師ヨ

のバスに乗車し無事帰宅しました。お疲れさまでした。



次回5月20日(火)の赤坂山ハイクのお知らせ

滋賀県北西部の赤坂山は花の百名山と呼ばれています。この時期にはエンレイソウ、ニシキゴロモ、オオバキスミレ等々の花々が見られると思います。

遠いため早朝からの出発となりますが春の花々を堪能できると思います。

なお、金勝アルプスのような岩場等はありませんが、歩行距離が長く時間もかかります。

近日中に案内状をお送りいたします。